

## 「入れる学校」から「入りたい学校」に向けた府立高校のさらなる充実

### ◆第23回審議会（H19.12.18開催）における意見・質問等

#### I 幅広い教育ニーズに応える学校づくり

- 「エル・ハイスクール」にはいわゆる進学校が多いという印象を受けるが、「次世代をリードする」人間には他者を思いやる心が必要。そういう人間を育てていただきたい。
- 教育システムは Excellence（優秀性）と Equity（公正）の両面から評価することが重要。前者について、「エル・ハイスクール」では、大学への進学実績は向上したのか。  
（→ 府教委として、各校でどの大学に何名入ったかという資料は持っていない。）  
後者について、高校トータルとして中退率はどう推移しているのか。  
（→ 一時期3%あった全日制の中退率は、2.7%、2.3%となり、17年度は2.6%、18年度は2.8%とやや上昇している。）
- 高校1年生での中退率が高いということだが、中退理由は何か。  
（→ 最新のデータでは、学校生活・学業不適応が48%、進路変更が30%、学業不振が12%）
- 大阪の高校中退率は、全国的に高いのか。  
（→ 全国一高い。）
- 普通科の学校には「エル・ハイスクール」「経営革新プロジェクト」「アクティブ・ハイスクール」の3つの事業がある。また、専門学科併置校もある。だが、どれにもあたっていない高校もあり、これらの高校を支援していく必要がある。
- 中退率が10%以上の高校は11校ということだが、すべて「アクティブ・ハイスクール」に指定されているか。指定されていなくても必死で頑張っている高校もある。そういった高校をしっかりと支援するべき。
- 特に、既存の普通科で、様々な課題が集中している高校は、大変なご苦労をされていると思うので、条件整備等の支援をお願いしたい。
- 「エル・ハイスクール」「経営革新プロジェクト」「アクティブ・ハイスクール」以外にも、それぞれの高校の実態に応じ、いわば「その他」のカテゴリーとして高校を支援していくことも重要。
- 現場の実態に応じた支援をしていくためには、「学校評価システム」を活用していくことも有効。

#### II 生徒の「自立・自己実現」の支援

- 学校教育の中で、「道徳」や「倫理」は教えているか。  
（→ 科目としては設定されていないが、学校教育活動において、道徳や倫理の趣旨に沿った様々な取り組みが行われている。例：地域清掃活動）
- 「道徳」だけがすべてではないが、文学や哲学、様々な体験活動を通じて教養を身につけるべき。
- 私立の中高一貫校では、公立の高校に比べ、幅広い教養を身につける教育が実践されているように思う。
- 校則は、生徒の状況の変化に対応したものとなっているか。  
（→ 校則は校長の責任と権限において作成。府教委としては、校則の弾力化を指導している。）

#### III 特色づくり・再編整備の成果と課題を踏まえた府立高校の充実について

- 制度的な改革は大きく進んだと思う。  
その一方で、様々なタイプの高校が設置されていることに、中学校側の理解が追いついていないのではないかと。特に、中学校の進路指導がきちんと理解し、対応できているか。  
（→ 8月に「中間まとめ」を出し、その後、中学校関係者や進路指導担当者とも意見交換を実施。ご指摘のような意見もあったが、中学校サイドとともに、この制度をさらに浸透させる努力が必要。）